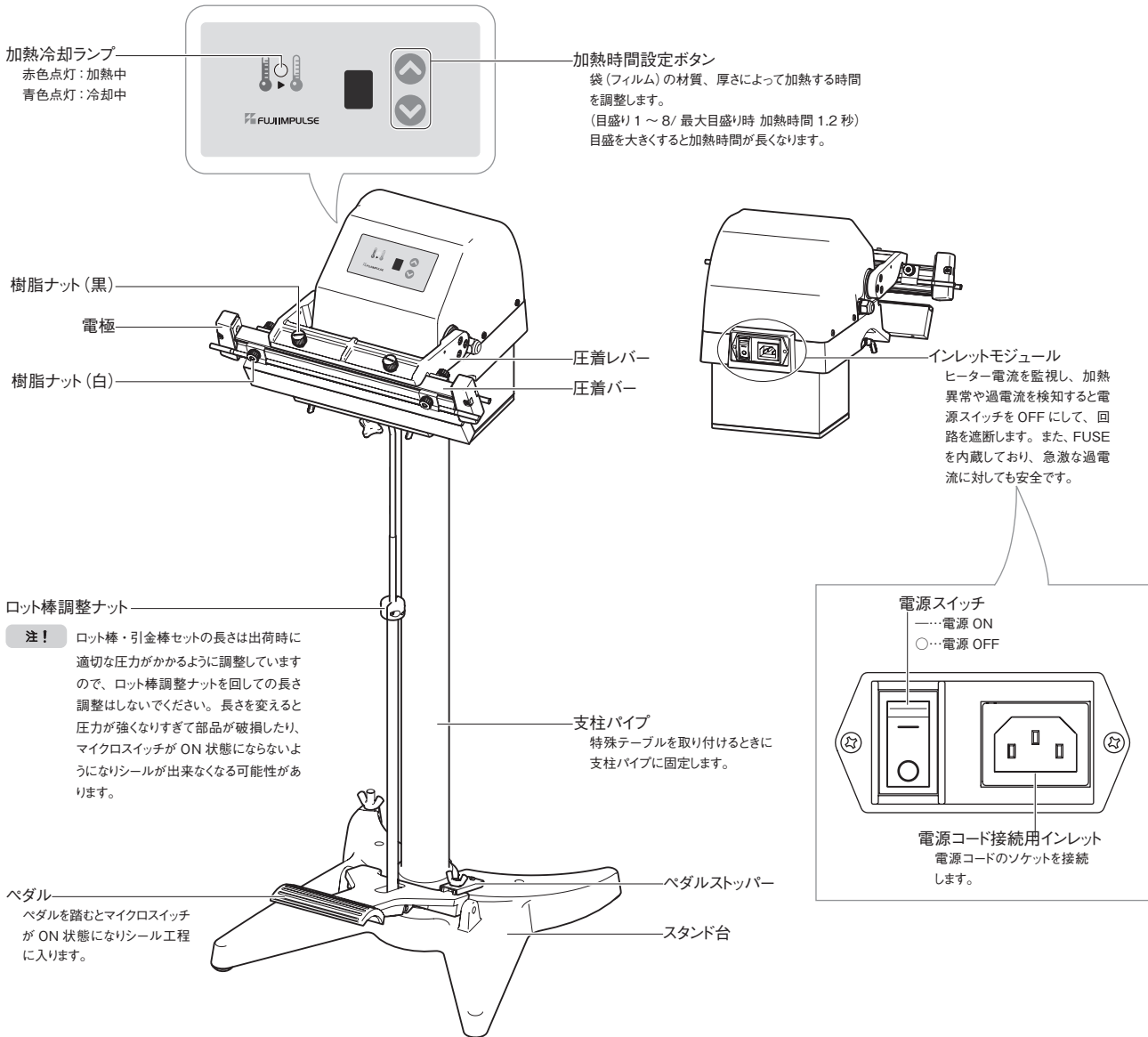
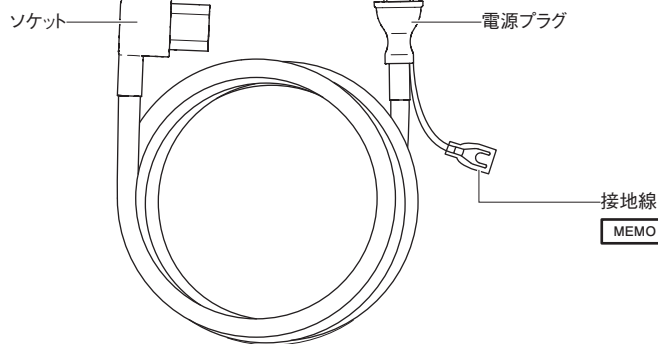


7 各部の名称とはたらき



電源コード



MEMO 湿気の多い場所や水がかかる恐れのある場所では、故障により漏電し、感電の恐れがあるため、コンセントの保護接地端子に接続してください。

8 正しい使い方

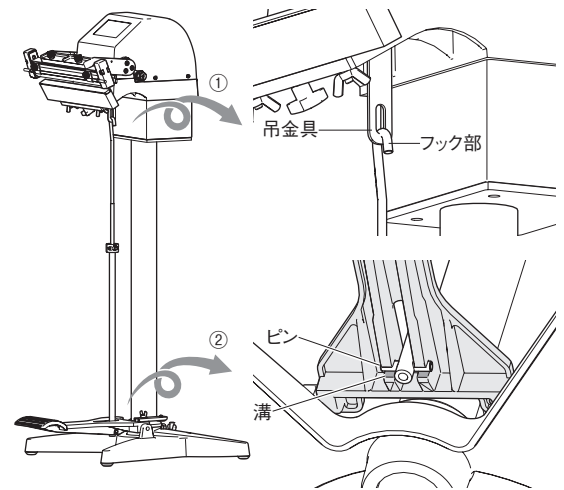
製品を使用される時は以下の「正しい使い方」をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

8-1 準備

ペダルをゴムで縛って梱包していますので、ゴムを外してペダルを解放してください。

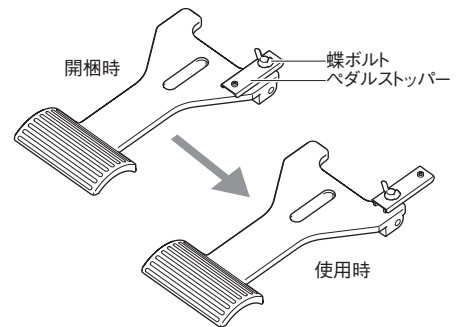
ペダルを解放したら、下記2点を確認してください。

- ①吊金具にロット棒・引き金棒セットのフック部がかかっていること
- ②ロット棒・引き金棒セットの下部分のピンがペダル裏側の溝に入っていること



上記が確認できたら、ペダル止めの蝶ボルトを外して、右図のように取り付けてください。

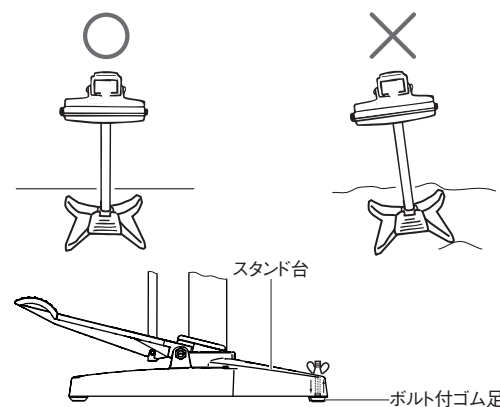
- 1 蝶ボルトを外す
- 2 ペダル止めに反対に取り付ける
- 3 蝶ボルトで締め付ける



8-2 本体の設置

水平な面を持つ適切な床の上に設置してください。

警告 水平な面を持たない床に不安定な状態で設置するとシーラーが転倒する危険性があります。



スタンド台に取り付けられているボルト付ゴム足の蝶ナットを緩めるとボルト付ゴム足の高さが調整できますので、多少の床面の高さの違いには対応できます。

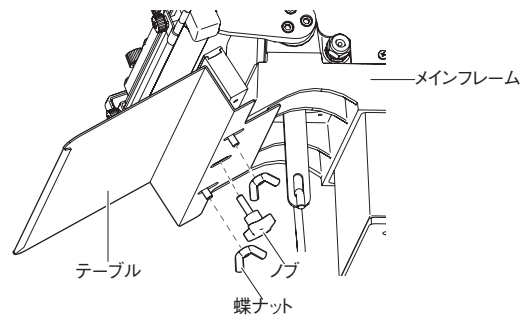
8-3 テーブルの取り付け

テーブルを使用されない場合はこの作業をする必要はありません。

メインフレームに取り付けられている蝶ナットとノブを取り外してください。取り外した蝶ナットとノブでテーブルを固定してください。

注! ノブは必ず取り付けてください。取り付けなければシール時にシール受け板が浮き上がります。

注意 標準テーブルの耐荷重は 2kg です。
2kg 以上の物を標準テーブルに載せると、テーブルの破損、メインフレームの破損の原因となる場合がありますので、2kg 以上の物を載せないようにしてください。

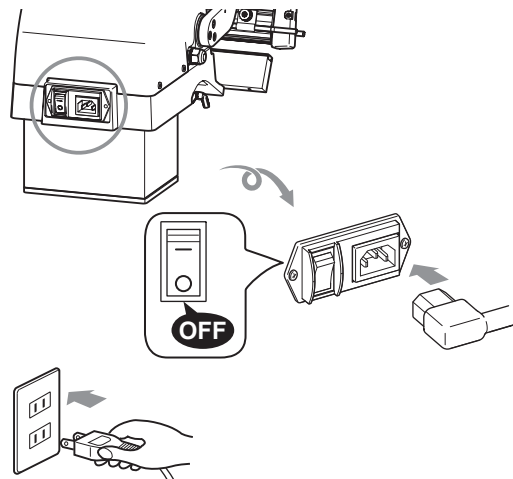


8-4 電源コードの接続

- 1 電源コードのソケットを機械背面の電源コード接続用インレットに接続してください。
- 2 電源コードの電源プラグを「1 仕様」(→ P.6) で掲載しているお買い上げ製品の電圧・電力がとれるコンセントに確実に根元まで差し込んでください。

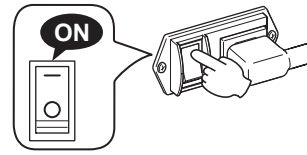
警告 電源コードは必ず付属のものを使用してください。規定の容量に合わない場合、火災などの危険があります。

注! 電源スイッチは OFF の状態で、電源コードのソケット、電源プラグを接続してください。電源スイッチが ON の状態で電源コードを接続すると、電源スイッチ内部の安全回路がまだ動作していないため、一旦 OFF になりますが、異常ではありません。



8-5 電源スイッチ ON

機械背面の電源スイッチを押して ON 状態にすると操作パネルの表示部が点灯します。



8-6 加熱時間の設定

操作パネルで加熱時間を設定します。

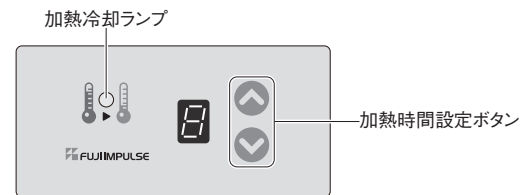
▲、▼ ボタンで数値を設定します。設定したい設定No.まで ▲、▼ ボタンを押してください。

設定No.は8段階で0.5秒～1.2秒までの加熱時間設定ができます。

設定No.	1	2	3	4	5	6	7	8
加熱時間 [秒]	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2

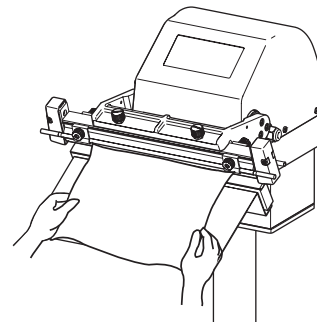
- ・使用される袋（フィルム）の材質、厚さにより適切な設定値は変わりますので、異なる袋を使用される場合はその都度設定を変更してください。
- ・シールができる最短の時間で設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。

警告 加熱時間を大きくして、冷却時間を取らないで連続使用すると、火災などが発生する危険性があります。



8-7 袋をシール部にセットする

袋（フィルム）を両手で持ちシワがなくなるように両手でピンと張りながらシール部に手で持っていきます。



8-8 ペダルを踏む

- 1 カチッ音とマイクロスイッチの音がするまでペダルを踏み込んでください。加熱冷却ランプが赤色に点灯し、加熱が開始します。
- 2 加熱が終了すると加熱冷却ランプが青色に点灯し、冷却が開始します。

MEMO 青色の点灯時間(冷却時間)は、設定した加熱時間の3倍になります。

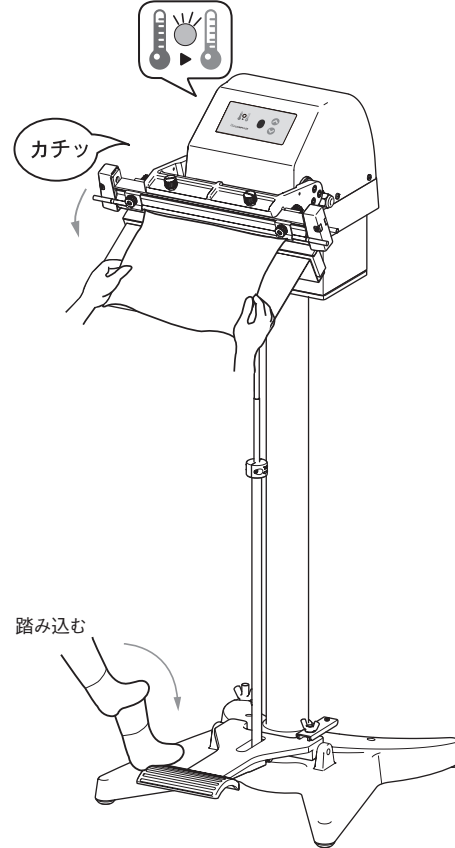
- 3 加熱冷却ランプの青色が消灯し、ピッとブザーが鳴ると冷却終了です。ペダルを踏むのをやめ、シール部から袋(フィルム)を取り出してください。

注! 袋(フィルム)の材質、厚さによって最適な冷却時間は異なりますので、ピッとブザーが鳴っても、ペダルを踏み続けるなどして冷却時間を調整してください。

何度かシールテストを行い、設定をより良い状態に仕上げてから量産作業を行ってください。

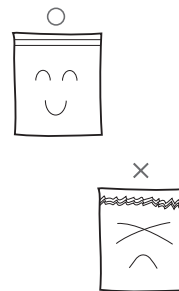
注意 連続で使用するとシール部が高温になりますので火傷の恐れがあります。次のシール作業までは5秒以上空けてから作業してください。

加熱冷却ランプ
赤色点灯：加熱中 → 青色点灯：冷却中



8-9 シールのできあがり

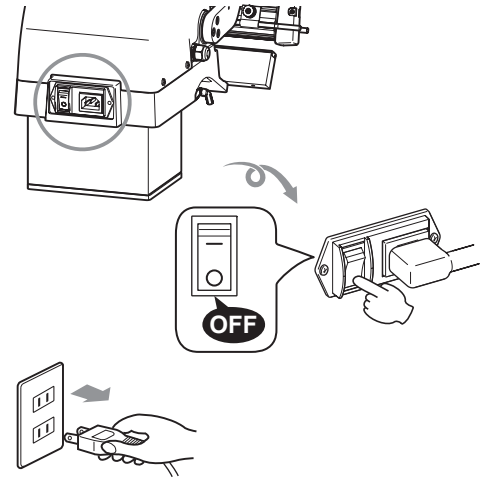
加熱・冷却終了後、ペダルを踏むのをやめ、圧着レバーを上げればシール完了です。
うまくシールができていない場合は再度、加熱時間設定をやり直して調整してください。



8-10 電源スイッチを OFF にする

作業が終了したら、必ず電源スイッチを押して OFF 状態にしてください。

長時間使用されない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。



8-11 作業終了後の点検

作業が終了したら清掃を行い、フローガラスシートやヒーター等の部品が傷んでいないか点検を行ってください。傷んでいるようであれば、取扱説明書の消耗部品交換の方法をよくお読みいただき、交換を行ってください。